

令和6年9月18日

令和6年度学科別海外研修実施報告書

学 科 名	国際共生学科																																						
研 修 名 称	第 1 回生物資源科学部国際共生学科ウガンダ農村開発研修																																						
実 施 期 間	令和 6 年 9 月 6 日 ～ 令和 6 年 9 月 1 6 日 （ 1 1 日間）																																						
渡 航 先	ウガンダ共和国 ブランブリ県及びクウェーン県																																						
参 加 者 数	<table><tr><td></td><td>1 年次</td><td>2 年次</td><td>3 年次</td><td>4 年次</td><td>5 年次</td><td>6 年次</td><td>計</td></tr><tr><td>男子</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td>女子</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr><tr><td>計</td><td>0</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td></tr></table>								1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	計	男子	0	5	0	0	0	0	5	女子	0	2	0	0	0	0	2	計	0	7	0	0	0	0	7
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	計																															
	男子	0	5	0	0	0	0	5																															
	女子	0	2	0	0	0	0	2																															
	計	0	7	0	0	0	0	7																															
【実施許可後の辞退者等】 有 / ☐																																							
引 率 教 職 員	山下哲平、佐々木大																																						
認 定 科 目 名	海外フィールドワークⅠ・Ⅱ																																						
修了証の有無	有 / ☐																																						
研 修 概 要	2024. 09. 06、17：30 成田空港 T1 南ウイング集合。点呼並びに荷物確認後チェックインを行う。仁川空港およびアディスアベバ空港を経由し、2024. 09. 07、11：30 ウガンダ・エンテベ空港到着。借上車両と合流後、Victoria mall にて家庭菜園への普及用種子等を購入。 2024. 09. 08、9：00 より首都カンパラにて市場調査：ナカセロ・マーケット、ナショナル・モスク、オールド・タクシー・パーク、マケレレ大学等。終了後 ICA 関係者とミーティングを実施。 2024. 09. 09、8：30 カンパラ発、NacRRI に到着後、NacRRI(稲作試験場)にて稲作の普及に関する視察等を行う。終了後、ムバレへ。 2024. 09. 10、9：00 UWESO にて女性支援についてのレクチャーとディスカッションを行う。12:30 コーヒー農家および周辺の環境視察を実施。 2024. 09. 11、9：30 JICA Atari にむけて出発。JICA より Atari 灌漑プロジェクトの概要と抱えている問題点について説明を受ける。その後、セービング・グループを対象にインタビュー調査。翌日の野菜苗の普及講習会の打ち合わせ、衛生講習会の打ち合わせ等を実施。終了後、ムバレへと帰着。 2024. 09. 12、8：30 JICA Atari にむけて出発。地元小学生を対象に、健康とスポーツ講習会、栄養講習会、衛生講習会、野菜苗の普及講習を実施。また別途、セービング・グループならびに周辺農民に対する社会調査。 2024. 09. 13、8：30 JICA Atari にむけて出発。地元小学生を対象に、文																																						

	化交流会を実施。また別途、農民組織に対する社会調査を実施した。 2024. 09. 14、9：00 ムバレよりジンジャにむけて出発。現地にてナイル川源流の環境及び観光資源調査を実施。 2024. 09. 15、9：00 ジンジャよりエンテベにむけて出発。16：00 エンテベ到着。出国手続き後、アディスアベバ国際空港に向けて出発。 2024. 09. 16、20：20 アディスアベバ・仁川を経由し、成田国際空港に到着。全員の帰国手続き完了後、成田エクスプレスにより戸塚にむかう。
研修目的に対する成果	① 社会調査を通じた課題発掘能力の形成 現地視察のみならず、JICA や UWESO からの状況説明やディスカッション、また農民や小学校の児童との直接的な意見交換によって、ウガンダ農村が抱える課題や現状把握と分析について実践的に行うことができた。 ② 現地における実習を通じた協調性の向上 合計4班（農業班、栄養・衛生班、文化交流班、社会調査班）に分かれて活動を行なった。これらの班員は、兼務もあったため、事前準備の段階から相互に協力しあい、現場でも的確な役割分担を完遂することでいくつからの企画を成功に導くことができた。 ③ インタビューや共同作業によるフィールド適応能力向上 健康や衛生・栄養、野菜苗の普及や文化交流など、累計120名程度の現地民との交流があった。特に現地児童に対する「〇〇教室」の開講は、準備の精度のみならず、指導力、知識力、対応力、判断力を強く試される機会となり、参加学生にとって意義深い経験になった。また、これらを実施する上で、使用された言語は基本的に英語であったため、英語力の向上にも寄与した。

上記のとおり学科別海外研修を実施しましたので、ご報告いたします。

報告者 山下 哲平 印